

平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月8日

上場会社名 株式会社音通 上場取引所 東
 コード番号 7647 URL <http://www.ontsu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡村邦彦
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 仲川進 (TEL) 06-6372-9100
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	12,796	△5.4	281	△23.6	244	△24.1	152	△4.6
29年3月期第3四半期	13,522	△0.5	368	38.6	321	44.3	159	59.9

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 152百万円(△7.2%) 29年3月期第3四半期 164百万円(61.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	0.79	0.78
29年3月期第3四半期	0.82	0.81

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	11,105	3,360	29.3
29年3月期	11,033	3,386	29.6

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 3,253百万円 29年3月期 3,264百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.12	—	0.12	0.24
30年3月期	—	0.12	—		
30年3月期(予想)				0.12	0.24

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,705	0.2	400	1.3	360	6.7	160	12.9	0.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	196,915,645株	29年3月期	195,261,645株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	5,001,405株	29年3月期	1,353株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	193,135,720株	29年3月期3Q	194,142,383株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、引き続き日本銀行によるマイナス金利政策のもと、大手企業をけん引役として企業業績や雇用環境が改善傾向にあり、個人消費は緩やかに持ち直しているなど、景気は緩やかな回復基調が続いており、海外経済についても、世界の景気は緩やかに回復しております。なお、当第3四半期連結累計期間における為替相場は、1ドル111円から114円の間で安定した動きとなりました。

このような状況の中、当社グループは、100円ショップを運営する食料品・生活雑貨小売事業、業務用カラオケ機器の賃貸・販売を行なうカラオケ関係事業及びスポーツクラブを運営するスポーツ事業を中心に事業運営を進めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間における売上高は12,796,612千円（前年同四半期比5.4%減）、営業利益は281,757千円（前年同四半期比23.6%減）、経常利益は244,102千円（前年同四半期比24.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は152,111千円（前年同四半期比4.6%減）であります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①食料品・生活雑貨小売事業

当セグメントは、「FLET'S」及び「百圓領事館」等の100円ショップならびに食品スーパー「Fマート」を運営しております。

当第3四半期連結累計期間における新規出店店舗は、次の14店舗であります。

オープン	店舗名称	所在地
平成29年4月21日	FLET'S GETO 萱島店	大阪府寝屋川市
平成29年6月8日	FLET'S アプロ松原店	大阪府松原市
平成29年6月9日	FLET'S ゆめマート坪井店	熊本市中央区
平成29年6月23日	FLET'S アコレ八広店	東京都墨田区
平成29年7月14日	FLET'S アルク平生店	山口県熊毛郡
平成29年7月28日	FLET'S コモディイイダ草加店	埼玉県草加市
平成29年9月1日	FLET'S 中央フード柳井店	山口県柳井市
平成29年9月8日	FLET'S アコレ練馬春日町店	東京都練馬区
平成29年9月15日	FLET'S アコレ綾瀬駅東店	東京都足立区
平成29年9月28日	FLET'S アプロ沢良宜店	大阪府茨木市
平成29年10月19日	FLET'S アプロ平野店	大阪市平野区
平成29年10月26日	FLET'S サンディ樫原葛本店	奈良県樫原市
平成29年11月30日	FLET'S アプロ門真店	大阪府門真市
平成29年12月1日	FLET'S アコレ青井5丁目店	東京都足立区

一方で、賃貸契約満了のため平成29年6月にFLET'S 千里セルシー店、平成29年8月にFLET'S 塚原店、平成29年10月にFLET'S イズミヤ伏見店、平成29年12月にFLET'S 四街道店が閉店いたしました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末日現在、「FLET'S」「百圓領事館」等の100円ショップ直営店舗152店舗、同FC店舗6店舗、食品スーパー「Fマート」直営店舗4店舗の合計162店舗を運営しております。

既存店舗におきましては、引き続き中・大型店を中心に、リニューアル工事や売場のレイアウト変更などを積極的に実施することで、お客様により一層ご利用いただきやすい店舗作りを進めてまいりました。

前連結会計年度に業績不振店舗を閉店するとともに、当第3四半期連結会計期間におきましても新規出店ならびに既存店のリニューアル工事を進めたものの、既存大型店を中心としたリニューアル工事期間の減収や、リニューアル工事費用などの経費が増加したことなどにより、売上高は9,900,449千円（前年同四半期比5.4%減）、セグメント利益（営業利益）は61,655千円（前年同四半期比63.2%減）となりました。

②カラオケ関係事業

当セグメントは、業務用カラオケ機器及び周辺機器の賃貸、卸売事業を中核事業とし、業務用ゲーム機器賃貸等事業も含んでおります。

カラオケ事業におきましては、業務用カラオケメーカー2社より商品の供給を受けており、カラオケ機器の導入提案のみならず、カラオケ店出店候補物件の紹介や内装提案なども手がけることにより、得意先に対するワンストップサービスの実現を目指しております。そのため、不動産事業者、ビルオーナーならびにビル管理会社などに対する営業の強化にも積極的に取り組んでまいりました。

しかしながら、当セグメントの売上高は1,764,542千円（前年同四半期比14.1%減）、セグメント利益（営業利益）は99,009千円（前年同四半期比11.3%減）となりました。

③スポーツ事業

当セグメントは、スポーツクラブ「JOYFIT」および、ホットヨガスタジオ「LAVA」を運営しております。

当第3四半期連結累計期間における新規出店店舗は、次の2店舗であります。

オープン	店舗名称	所在地
平成29年7月15日	JOYFIT24 茨木真砂	大阪府茨木市
平成29年9月13日	JOYFIT24 靱公園	大阪市西区

この結果、当第3四半期連結会計期間末日現在、スポーツクラブ「JOYFIT」を3店舗、24時間型フィットネス・ジム「JOYFIT24」を9店舗、ホットヨガスタジオ「LAVA」を1店舗の合計13店舗を運営しております。

引き続き、JOYFIT24 門真打越（平成30年1月）を新規オープンするとともに、JOYFIT24 JR六甲道駅前（平成30年2月）の新規オープンを予定しております。

この結果、当セグメントの売上高は788,418千円（前年同四半期比25.7%増）、セグメント利益（営業利益）は170,525千円（前年同四半期比25.3%増）となりました。

④IP事業

当セグメントは、店舗及び住宅の賃貸ならびにコインパーキング「T.O.P.24h」の運営をしております。

当第3四半期連結累計期間における賃貸店舗、賃貸住宅の新規出店店舗はありません。

コインパーキング事業におきましては、3ヵ所76車室の新規設置を行なった結果、当第3四半期連結会計期間末日現在、大阪府、兵庫県、京都府におきまして62ヵ所671車室のコインパーキングを運営しております。

近隣の競合状況や利用実績などを細かく分析してきめ細かな運営をすることにより、安定した運営が続いておりますが、一方で、営業力強化のため人件費が増加した結果、売上高は343,202千円（前年同四半期比8.8%減）、セグメント損失（営業損失）は3,741千円（前年同四半期は9,117千円のセグメント利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産総額は11,105,514千円(前連結会計年度末比72,512千円の増加)となりました。

流動資産は4,761,284千円(前連結会計年度末比13,544千円の減少)となりましたが、これは、主として商品及び製品が174,608千円、預け金が57,864千円、受取手形及び売掛金が53,234千円増加し、現金及び預金が318,194千円減少したことなどによります。

固定資産は6,332,409千円(前連結会計年度末比89,822千円の増加)となりましたが、これは、主として、建物及び構築物(純額)が114,624千円増加し、のれんが63,401千円減少したことなどによります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債総額は7,745,349千円(前連結会計年度末比99,331千円の増加)となりました。

流動負債は3,611,295千円(前連結会計年度末比35,840千円の増加)となりましたが、これは、主として、支払手形及び買掛金が335,189千円増加し、1年内返済予定の長期借入金が266,010千円、1年内償還予定の社債が65,000千円減少したことなどによります。

また、固定負債は4,134,054千円(前連結会計年度末比63,490千円の増加)となりましたが、これは、主として、長期割賦未払金が153,348千円増加し、社債が65,000千円、長期借入金が68,563千円減少したことなどによります。

(純資産)

第3四半期連結会計期間末における純資産は3,360,164千円(前連結会計年度末比26,818千円の減少)となりました。主な要因は、資本金及び資本剰余金がそれぞれ新株の発行で32,214千円増加し、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益の計上で152,111千円増加し、配当金の支払で46,299千円減少するなどにより105,811千円増加し、また、自己株式の取得により180,635千円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期における連結業績予想は、平成29年5月10日に公表しました「平成29年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載した数値から修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,111,830	1,793,635
受取手形及び売掛金	483,137	536,371
商品及び製品	1,825,383	1,999,992
原材料及び貯蔵品	1,755	1,097
前渡金	15,351	16,288
前払費用	178,589	194,364
繰延税金資産	22,021	21,289
預け金	92,931	150,795
その他	50,193	54,099
貸倒引当金	△6,366	△6,650
流動資産合計	4,774,829	4,761,284
固定資産		
有形固定資産		
賃貸資産(純額)	1,503,293	1,478,774
建物及び構築物(純額)	1,357,334	1,471,958
土地	881,217	868,533
その他(純額)	572,609	752,756
有形固定資産合計	4,314,454	4,572,024
無形固定資産		
のれん	234,759	171,358
その他	29,058	23,276
無形固定資産合計	263,817	194,635
投資その他の資産		
投資有価証券	63,525	24,330
建設協力金	370,497	322,980
差入保証金	1,014,260	1,004,657
繰延税金資産	84,159	75,735
その他	145,933	153,853
貸倒引当金	△14,061	△15,808
投資その他の資産合計	1,664,314	1,565,749
固定資産合計	6,242,586	6,332,409
繰延資産	15,585	11,820
資産合計	11,033,001	11,105,514

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,399,797	1,734,986
1年内返済予定の長期借入金	1,331,251	1,065,241
1年内償還予定の社債	130,000	65,000
未払金	187,184	220,387
1年内支払予定の長期割賦未払金	292,390	333,641
未払法人税等	44,897	73,218
資産除去債務	7,043	1,103
預り金	69,069	21,718
その他	113,821	95,998
流動負債合計	3,575,454	3,611,295
固定負債		
社債	1,025,000	960,000
長期借入金	2,120,756	2,052,192
長期割賦未払金	427,618	580,967
役員退職慰労引当金	131,598	127,121
退職給付に係る負債	111,591	113,646
資産除去債務	79,309	80,435
その他	174,688	219,690
固定負債合計	4,070,563	4,134,054
負債合計	7,646,018	7,745,349
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,583,203	1,615,418
資本剰余金	1,088,302	1,120,516
利益剰余金	592,773	698,585
自己株式	△52	△180,687
株主資本合計	3,264,227	3,253,833
新株予約権	113,100	96,381
非支配株主持分	9,655	9,950
純資産合計	3,386,982	3,360,164
負債純資産合計	11,033,001	11,105,514

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	13,522,825	12,796,612
売上原価	9,000,046	8,327,716
売上総利益	4,522,778	4,468,896
販売費及び一般管理費	4,154,136	4,187,138
営業利益	368,641	281,757
営業外収益		
受取利息	8,925	7,475
受取配当金	640	640
持分法による投資利益	—	805
受取保険金	1,342	1,593
その他	5,114	4,942
営業外収益合計	16,022	15,457
営業外費用		
支払利息	36,654	28,270
支払保証料	3,857	2,969
持分法による投資損失	32	—
社債発行費償却	4,670	3,402
その他	18,049	18,469
営業外費用合計	63,263	53,112
経常利益	321,401	244,102
特別利益		
投資有価証券売却益	—	24,000
負ののれん発生益	4,176	—
新株予約権戻入益	211	411
特別利益合計	4,388	24,411
特別損失		
固定資産売却損	—	645
固定資産除却損	300	1,157
店舗閉鎖損失	17,540	2,086
段階取得に係る差損	5,389	—
特別損失合計	23,230	3,888
税金等調整前四半期純利益	302,559	264,625
法人税、住民税及び事業税	133,763	103,064
法人税等調整額	4,531	9,155
法人税等合計	138,294	112,219
四半期純利益	164,264	152,405
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,856	294
親会社株主に帰属する四半期純利益	159,407	152,111

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	164,264	152,405
四半期包括利益	164,264	152,405
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	159,407	152,111
非支配株主に係る四半期包括利益	4,856	294

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	食料品・生活 雑貨小売事業	カラオケ関係 事業	スポーツ事業	I P 事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	10,464,156	2,055,131	627,178	376,358	13,522,825
セグメント間の内部売上高 又は振替高	24,256	811	—	47,086	72,154
計	10,488,413	2,055,942	627,178	423,445	13,594,979
セグメント利益	167,348	111,663	136,121	9,117	424,251

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	424,251
セグメント間取引消去	24,446
全社費用(注)	△80,056
四半期連結損益計算書の営業利益	368,641

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「食料品・生活雑貨小売事業」セグメントにおいて、平成28年4月1日付けで株式の追加取得をしたジーン株式会社を追加しております。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては4,176千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	食料品・生活 雑貨小売事業	カラオケ関係 事業	スポーツ事業	I P 事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	9,900,449	1,764,542	788,418	343,202	12,796,612
セグメント間の内部売上高 又は振替高	88	45,651	—	42,804	88,544
計	9,900,537	1,810,194	788,418	386,006	12,885,156
セグメント利益又は損失(△)	61,655	99,009	170,525	△3,741	327,447

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	327,447
セグメント間取引消去	21,721
全社費用(注)	△67,411
四半期連結損益計算書の営業利益	281,757

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。